

議長／皆さんおはようございます。

休会前に引き続き会議を開きます。

24日の18番牟田議員の一般質問に対する答弁の補足の申し入れが執行部からあっておりますので、ここで発言を許可したいと思います。

山口環境部長

山口環境部長／おはようございます。

24日の牟田議員の一般質問で、猫の避妊・去勢手術補助金の流用について答弁した件で、分かりづらい表現をしましたので、補足説明をさせていただきます。

流用の対応をすべきではないかというお尋ねで、他の市の補助金にも影響があると答弁しておりますが、意味としては武雄市の別の補助金にも影響があるという意味でございます。

補足説明とさせていただきます。

議長／日程に基づき、市政事務に対する一般質問を始めます。

それでは最初に2番山崎議員の質問を許可いたします。

御登壇を願います。

2番山崎議員

山崎議員／皆さんおはようございます。

ただいま議長より登壇の許可をいただきました、2番山崎健、一般質問を始めます。

現在、世界ではサッカーワールドカップで大変盛り上がっております。

日本代表も一生懸命頑張っております。

ドイツ戦では一丸となり勝利を収めましたが、昨日のコスタリカ戦では一瞬の隙をつかれたのか、敗退してしまいました。

現在、武雄市においても、解決しなくてはいけない問題が山積みです。

気を緩めず、気を引き締めて、解決していかなくてはいけないと感じたところでありました。

新人議員ではありますが、私の指針である、人と人のつながりを大切に、感謝の気持ちを常に忘れずに、己を顧みて常に前進。

この三常(?)の心得を忘れずに、安心して住めるまちづくりを目指して、議員活動を頑張っていきたいと思っております。

武雄市の大きな課題の一つとして、2度の水害からの復興、そして治水対策があります。

毎回、私も一般質問では取り上げておりますが、現在、待ったなしの状況です。

令和5年度の出水期までにできるだけの対策を立てて実行していかなくてはならない。

皆さん、力を合わせ精いっぱい頑張りましょう。

それでは、1つ目の質問に入ります。

今日は、この2項目、治水対策について、観光についての2項目から質問をしていきます。最初の質問ですが、特定都市河川の指定について。

この質問は、先週豊村議員や池田議員のほうからも質問が出て答弁をいただきました。

私もこの特定都市河川指定については賛成の立場から質問をしていきたいと思っております。まず、この制度では、起点をどこに置くかということが基準になってきていると思いますが、水害地区以外でも、この特定都市河川指定の範囲に入るのかについて御質問をいたします。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／おはようございます。

特定都市河川の起点ということになりますけれども、11月29日の第5回の六角川流域治水協議会において、どの市町、どこまでの市町がこの指定に向けて動くかということになりますが、例えば武雄市だけが指定を受けるとなると、単純に言えば武雄市と大町町の境から上流部域、全てが指定が入ります。

六角川本線及び県河川などの支川についても範囲が全部入りますので、今の水害地域以外のところについても全てが指定の範囲ということになります。

議長／2番山崎議員

山崎議員／その指定についてですが、いつ頃の時期を考えていらっしゃいますか。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／先ほど申しましたとおり、11月29日の六角川流域治水協議会の中で協議されると思います。

その後、いろんな事務手続きを経まして国交大臣のほうから指定を受けますが、明確な时期的には、まだ定かではございません。

議長／2番山崎議員

山崎議員／この起点をどこか、どこに置くかということで範囲が決まってくるかということではありますが、このデメリットという面でお尋ねいたしますが、開発に抑制がかかると、住民には影響がないという、先週、部長のほうのお答えをいただきましたが、私が考えるに

は、開発抑制がかかることにより、現在進行中の計画、予定、これが遅れたりとか延期になったりとかするのではないかということが考えられるかと思いますが、また、都市計画にも影響が出てくるのではないかと思いますけれど、その辺についてどのようにお考えですか。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／特定都市河川に指定されますと、開発の面積によりましていろいろ貯留施設とか、何とかを造る必要がでてきます。

このことによりまして、幾分かは開発に対する抑制とかが出てくるかと思いますが、そこにつきましてはしっかりと今後、補助金制度とか何とかを丁寧に説明しながら開発に歯止めがかからないような進め方をしてまいりたいと思いますし、住民に対しましてはこれについてのデメリット的なものは全くないというふうに考えております。

議長／2番山崎議員

山崎議員／これの指定を受けることによって、そういう抑制がかからず、今の計画中の都市開発についてもですね、並行して進められるよう考えながらやっていただければと思います。続きまして、先ほども市民への影響はないということでしたが、網をかけられる、指定を、抑制をかけられることによって、土地の価格、こういったものに影響はないのか、ちょっとお尋ねいたします。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／指定を受けたことによって、土地の価格への影響は今のところはないものと考えております。

議長／2番山崎議員

山崎議員／この2度の水害によって、水害、被災した場所は、かなり土地の価格も下落して、人々も、移転している人が多く出てきておりますので、これ以上影響がないようにですね、十分協議していただきたいというふうに考えております。

先ほど言いましたとおり、私も特定都市河川の指定については反対ではありませんが、メリットだけでなくデメリットも考えながら実行する必要はあると思います。

私たち被災者は、一日でも早く水害が来ないまちにしてほしいと、日々思っております。

その思いは、市長をはじめ、市民の皆様も同じ考え方だと思っております。
武雄市にとって一番の方法、それで進めていただきたいと考えております。
市長、これに対して一言お願いします。

議長／小松市長

小松市長／おはようございます。

水害のない安心して暮らせるまちづくり、これは住民みんなの願いであると私も思っております。

治水対策については、今、取り組んでいますけれども、やはり今の取り組んでいるものだけでは十分ではない。

まだ床上浸水が残る地域も多数あると。

このままではいけない、さらに手を打っていかねばいけない。

そして、床上浸水ゼロの道筋をできるだけ早く示すということが大事だと思っております。

治水対策は1日や2日でできるものではありません。

ただ、一方で、いつまでに何がどうできて、そして、その効果がどれくらい出るのか、こういったことをできるだけ早く示すということが、やはり住民の皆さんの、ここにこれからも住もうという希望にもつながってくると思います。

そういう意味で、できるだけ早く道筋を示していきたいという思いであります。

その一つの大きな、やはり、ツールが、この特定都市河川だと思っております。

これには、おっしゃるとおり、あめとむちがあります。

やはり大規模な調整池などを今後考えていく上では、市だけではできない、国の助けが必要。

そのためにこの制度が私は不可欠だと思っております。

一方でむち、むちもやはり、できるだけむちは短く、そして柔らかくしていかなければならないと思っております。

ここの補助制度は国もありますし、私たちもしっかり考えて、影響をできるだけ小さくしていきたい。

それでも、そういうむちがあるけれども、それでも今やらなければならないのが治水対策であり、この制度の指定だと思っております。

その気持ちでやっておりますので、今、ため池の活用、できることはさらに最大限活用しつつ、この特定都市河川の指定をできるだけ早期にしてもらって、そして、床上浸水ゼロの道筋をとにかく早く、住民の皆さんにお示していきたい。

そして、安心につなげていきたい。

北方町であれば、まちの復興やにぎわいにつなげていきたいと考えています。

議長／2番山崎議員

山崎議員／今月、市長のほうから、今日の答弁以外でも、国のほうに喉をからしながら、この水害対策を訴えられておられますよというお話も聞きましたし、武雄市、代表団で国への要望活動も行っていただいております。

私たち被災者にとって、これが一番の頼りになっているところであります。

私たちが日々頑張っていきますので、これからもよろしくお願ひしたいと思っております。

次に、武雄市創造的復興プラン、いま一度、私もこの復興プランを見させていただきました。

この復興プランによって、ここに書いてありますように、誰もが安心して住み続けられ、新たなにぎわいが生まれる創造的な復興という言葉があります。

現在、武雄市については、こう復興プランがここに書いてありますが、ため池を治水に最大活用するという、県では調査を行い、53か所のため池を10%から50%水位を下げ、72万トンから90万トンの水がめを造ることが実行されております。

田んぼダムやハザードマップの整備等についても、順調に進んでいるんじゃないかと思えます。

でも、これからこの先、何をするかというのが、やっぱり一番大事なところにあるんじゃないかと思えます。

先ほどの特定都市河川の指定というのも一つの方法でありますし、令和5年度の出水期を迎えるまでに、市としてそのほかのことで何か実行していこうと、そういう計画があるのか、お尋ねいたします。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／議員御紹介いただきました新・創造的復興プランの中に、まだしていない部分も十分ございます。

すぐできることについて、早急に国、県とともに協力してやってまいりたいと考えております。

議長／2番山崎議員

山崎議員／何をやるのか、何をやらなければいけないかということもありますが、何ができるかと、できることをとにかくやっていこうという気持ちが私は大切だと思っておりますので、いろんな協議を抱えながら（?）、武雄市だけでなく、六角川流域治水協議会というのも

ございますし、協力し合って、復興ができるように頑張っていきたいと思います。

それともう一つ、治水シンポジウムも今年やろうというふうに予算も上がっておりました。これについては、通告もしていなかったのですが、内容のあるシンポジウムを早く開催していただけるように、切にお願いしたいと思っております。

続きまして、ちょっと細かいんですけど、次の質問に入ります。

この復興プランの中に、ちょうど、もうアップする予定が（？）アップしていないんですけど、保険や共済への加入促進、未加入者への補助などという欄がありますが、この辺についてちょっと具体的な説明をお願いしたいと思います。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／おはようございます。

保険・共済の補助に関する御質問ですが、水害による住宅の損害を補償する保険や共済への加入促進は、住宅が被害を受けた場合、速やかに住宅再建ができる有効な手段だと考えております。

そのため、住宅の火災保険未加入者に対する支援制度の構築に向けて、現在、準備を進めているところでございます。

議長／2番山崎議員

山崎議員／未加入者への補助という案で、今、ちょっと説明がなかったのですが、これは未加入者全ての人に対して補助をするのか、それとも限定指定されるのか。

その辺についてはいかがでしょうか。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／これにつきましては、火災保険や地震保険が基本にありまして、オプション保険としての水災保険としての加入と考えております。

未加入者への支援、新規加入者に対するの対応ということで考えております。

議長／2番山崎議員

山崎議員／この制度については、また新しい、その未加入者への補助ということでは、詳しい内容が、市報か何かで報告されると思いますけれど、できるだけ皆さんが、保険に入って

いなかった、何も出なかったという方が満足されるような内容をぜひつくっていただきたい
と思います。

続きまして、北方運動公園の整備というところに、質問に入ります。

この公園の整備、この公園は水害に遭った場所でもあります。この公園を整備して、相撲
場を移転しようという計画もここにあると、相撲場、ここが公園の全体図になりますかね、
あります。

ここに、この5反ほどの民間の土地もありますが、この土地を全体に利用して、全部の面を
利用して、武雄市で活用していくようなことは考えられないかと思っておりますけれども、これに
ついて御質問いたします。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／北方運動公園の付近につきましては、議員御指摘のとおり、前回の水害にも
遭っておりますので、今後の相撲場を含めた水害対策については十分考慮しながら考えてい
きたいと考えております。

議員御提案の周知を含めました整備につきましては、今後、施設利用者、地元の皆様、土地
使用者の御意見などを踏まえながら検討していく必要があるという認識でございます。

議長／2番山崎議員

山崎議員／北方地区を中心に、北方はこの運動公園を中心に本当に水害に遭った場所であ
ります。

道で2メートルほどの水が来ておりますので、この地域にも結構な水が浸水したと考えられ
ております。

極端な発想ではありますが、全体を整備してかさ上げをしたりすることによって、いろい
ろな利用価値が生まれてくるんじゃないかと考えます。

例えば、極端な話ですが、宅地にもできるんじゃないかというふうな考えもあります。

現在、北方町の水害地区の一番の問題としては、宅地や商業地に対する整備の治水対策であ
ります。

もう全て、整備をするにおいても治水対策ありきというふうになっております。

人口の減少化による空洞化も進んでもいます。

今度浸かれば、本当に前も言いましたけれども、誰もいなくなりそうです。

令和5年の出水期が来るのが本当に怖いと思っております。

私も自分の家をかさ上げして、この場所に住み続けようと思っておる次第であります。

被災者ももう限界に来ています。

一日で早く、安心して暮らせるように、これからも引き続き対策をお願いしたいと思っております。

次の質問に入ります。

これは、北方志久地区の河川整備についてということで、質問をしていきたいと思っております。ちょうどこの地図で書きました、これが河川になって、リムスの裏のほうに流れております。これは、この橋からこっちのほうにありますけれども、これは国道ですね、ちょうどこのほうですね、志久地区のちょうどこの長崎街道がありまして、掛橋と追分と、追分地区と掛橋地区の境の川になって、地元では境川と言われていると聞いておりますが、この途中がこの川の中、石垣が積まれていて、ちょうどこの下のほうが、隙間ができていてということで、地元の方から相談を受けているところであります。

もう一度写真を見ますと、石がこう出てきているんじゃないかということも言われていますが、この上は住宅地になっておりまして、先ほどの写真でいきますと、ここはちょっと石垣がもし崩れれば上の住宅にも影響が出てくるんじゃないかというふうに考えております。

この川の延長線に行きますと、こちらはJRの高架下の整備も進んでいる場所なんですけど、こっちの別の場所に行きますと、こういうふうに、しゅんせつもまだできずに、川の流れもちょっと流れが悪くなるんじゃないかと考えられる場所です。

その場所について、この場所は、調べたところによりますと県のほうの河川管理地ということであるということをお聞きしました。

この辺について、市のほうから、県のほうに要望していただいて調査をしていきたいと。

そして、危険性があるのであれば、整備のほうのお願いをしてもらいたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／河川管理者の杵藤土木事務所に確認しておりますけれども、国道より上流部の最初の写真の分ですけど、護岸部分ですね、それにつきましては、まずは危険性があるかどうか、現場を確認し、必要があれば対策を講じていきたいとのこととあります。

国道より下流のリムス付近の河川になりますけれども、これにつきましては、河川断面を広げることは難しいが、まずは現地の状況を確認したいということで、これも回答がっております。

市としても、掛橋側周辺部には、これまで浸水被害を受けてきた経過もあるため、現在、市で行っています内水調査において、内水量や効果的な対策案の検討を行っているところでございます。

河川の流れをよくするだけではなく、ため池の活用による河川流量を抑制する対策など、有効な対策を検討しながら県にも相談していきたいと思っております。

議長／2番山崎議員

山崎議員／ぜひよろしく申し上げます。

この掛橋地区、追分地区というのも、本当にすごい水害に遭っているところであります。特にJRを境に、かなりの水位が高くなっていて、本当、川の流れというのは、非常にここにも堆積物がこう上から流れてきて、たまったりもしておりますので、早急な対応をよろしくお願いしていきたいと思います。

続きまして、次の質問に入ります。

治水対策を考えた開発についてということなんですが、特定都市河川の指定を受けなくても、受ける間、この期間の間にもいろいろな場所が造成されたり、商業地としての埋立てが始まったりとかということがあると思います。

そういう場所に対しても、水害対策を考えた、治水対策を考えた開発をお願いしていかねばいけないんじゃないのかと思っておりますが、それについて市の考えをお伺いいたします。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／現在におきましては、宅地造成などの開発行為を行う場合、一定規模以上の場合に対し、開発地内(?)の排水対策を講じる必要がございますけど、それ以外につきましては、またその周辺部の浸水対策につきましては、法的根拠がないため、開発事業者へ求めることができない状況でございます。

しかしながら、今進めております特定都市河川を行うことによりまして、それにつきましても、ある程度の指導的なものを入れてくるようになるかと思っておりますので、まずは特定都市の指定を受けて進めていきたいと考えております。

議長／2番山崎議員

山崎議員／今、法的根拠がないということをおっしゃられました。

でも、私も武雄市に対して、この地区開発はどうなっていますかと、この地区は整備したほうがいいんじゃないですかという質問をしたときに、治水対策をしなきゃ整備されんもんねと、ここにたまっとった水はどこに行くтыやろうかということをおっしゃられたこともあります。

法的根拠がないというところもあるかとは思いますが、その辺はまちづくりをしていく中で、住宅も開発されていく中で、民間の業者さんとも十分に打合せして、やっぱり上流部ばかり整備されて、その整備された水がコンクリートになり、コンクリートは水面に水が入らなくなると、それが全部川に一遍に流れてくる、やっぱり都市化というか、整備が進めばそういう状況というのは、これからもどんどん、どんどん増えていくと思うし、六角川もやっぱりそんな多くの水が、ポンプ排水、ポンプも止まっているわけですから、多くの水を六角川に全部流すということはまず難しいと思います。

広田川のほうにも新しい排水機場も今、工事が始まっております。

高橋排水機場のポンプの増強も始まっています。

一遍にやっぱり雨が降ったときに、水が来たときに、六角川に全部水を持っていくということは非常に困難なことだと思います。

先週の質問の中に、遊水地公園も造りますよと、計画しますよという話もありました。

ただ、やっぱり大きなものを造るには、お金も要りますけれど、時間もかなりかかると思います。

一つ一つの場所が、小さなところから対策を行うことによって、やっぱり小さなものが集まれば、やっぱり大きくなりますので、一つ一つの開発、一つ一つの事業、そして、そういったものを皆さん、みんなが協力することによって水害というものは減ってくるんじゃないかと、市長が求める床上浸水ゼロというものが少なくなるのではないかと私は考えております。市長、その辺について一言お願いできませんか。

議長／小松市長

小松市長／まさに今、議員がおっしゃったことが流域治水の本質だと思っています。

これまで、やはり河川に頼る治水対策であったけれども、それはもう限界に来ている中で、やっぱりみんなが少しずつでも協力をして、水が浸水することを少しでも防いでいこうと、これはやはり企業や団体だけではなくて、市民皆さんお一人お一人の御理解と御協力も必要になってきて、はじめてできることだと思っています。

治水対策は、これまでどちらかという大枠で捉えていましたけれども、恐らくこれからさっきの追分、掛橋も、私も実際、現場に行きましたけど、本当に2回とも大変な状況です。床上150センチ、60センチという皆さんのお話も聞きました。

全体だけでなく、これから、今、調査もやっておりますので、治水対策全体もよりミクロに、この水の流れのこの流域であれば、ため池をこれだけする、川幅を広げるといような対策、きめ細かい対策にこれから移っていく時期だというふうに思っています。

そういう中で、やはり開発についてもそれぞれ、大枠だけではなくて、いろんな人がやっぱ

り協力をして、治水と開発のバランスを取っていくと、そういうことをぜひ私たちとしても目指していきたい。

そのためのツールが、繰り返しですけど、特定都市河川の開発があれば、自分のところに降った雨は自分のところで処理してくださいというふうに、よそに迷惑をかけないでくださいと、これは法的にもできますので、これについてとにかく、もうできるだけ早く指定を目指していきたいと思っています。

繰り返しですけど、おっしゃるとおり、とにかく、市民の皆さんお一人お一人の御理解と御協力をこれからもぜひ求めていって、みんなで何とか水害のないまちをつくっていきたくて考えています。

議長／2番山崎議員

山崎議員／本当に一人一人の努力、協力が大きなものになるということは間違いないと思います。

これからも、私も含め、水害対策、治水対策について、本当に忘れることなく、去年来なかったから、もう今年も来んばいということではなくてですね、来年は来るかも分からん、再来年はくるかも分からんという、そういう気持ちを忘れずに取り組んでいかなければいけないと思っておりますので、これからもよろしく願いいたします。

続きまして、観光について御質問いたします。

今、メディアのほうでも大分取り上げられるようになりましたサイクルトレインというものの導入、計画ができないかというふうに考えております。

実際は、やっぱりJRとの連携とかいろんなものが必要になってきますが、このサイクルトレインを導入するに当たっては、そう簡単にできることではないのかなと感じますが、ただ、武雄市には競輪場というほかのまちにはないものがあります。

そして、競輪場には自転車のプロの方もたくさんいらっしゃいますし、G1レーサーもいらっしゃいます。

そういった方々とコラボするとか、いろんな企画を立てて、武雄市というのは、特に、自然をめぐるにしても、やっぱり自転車というものは結構便利なツールの一つではないかというと考えられます。

マイ自転車を持ってきて、そして、武雄市のいろいろな観光場所、遺跡とか、そういったスポット、パワースポットとかを回って、そして、最後に温泉に入って帰ると。

おいしいものを途中で、たくさん場所がありますから、食べると。

このサイクルトレインというのは、どちらかといえば、ローカル線を利用して、そして、武雄市でいえば、永尾駅とか三間坂駅とか、北方駅とかそういうところに止まるのが一番理想

な形だというふうに言われております。

それで、先日の一般質問の中でもありましたが、市長のほうから松浦鉄道と一緒にしたらいいなど、松浦鉄道が武雄に来たらいいなというお話もありましたが、実際、松浦鉄道のほうでは、このサイクルトレインが取り入れられて観光のスポット、観光の目玉という形にもなっております。

現在、九州では、熊本、福岡、長崎、この3県で取り組んで行っているんですけど、この件について、市の考え、導入の考えがないかお尋ねいたします。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／おはようございます。

議員御提案のサイクルトレインでございますが、確かに武雄の魅力や観光をサイクリングで楽しんで、また、交通の手段としての自転車の観光事業への活用というのは非常に有効的ではないかというふうに考えているところでございます。

ただ、このサイクルトレインにつきましては、武雄市に走っています列車でいきますと、佐世保線になりますけれども、沿線自治体との連携等も必要になります。

また、これにつきましては、まずJRの許可というのが不可欠でございますが、今後、沿線自治体の皆様、また、JRと協議しながら、可能性については探っていければと思っております。

議長／2番山崎議員

山崎議員／観光、武雄市をやっぱり盛り上げていく一つの手段として、いろいろな方法もまだたくさんあると思います。

このサイクルトレインについても、私の提案として上げたんですが、検討していただいて、これから活用していただくことができればいいんじゃないかと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

続きまして、これ***、すみません。

これですね、タケさんぽについてお尋ねしたいと思います。

これは、今、公民館とか観光協会とか、自治体、すみません、において、一つの観光の紹介と、観光ルートの紹介ということで出されているものだと思います。

細かいことといたらなんですけど、これは北方の、タケさんぽの北方コースになります。大変申し訳ないですけど、かま蔵うどんについては、もう、ちょっと今、水害でおやめになられて別のお店に変わっております。

なぜか知らないですけど、北方のほうだけです、こういう皿うどん幾らとか、カレー**
*井幾らとか値段まで入っているわけですよ。

今はこの物価の影響もあり、各(?)値段も変わっているわけです。

これはいつ頃作られたのか、そして、値段の面については、やっぱりこれを見て、思う人は少ないかも分かりませんが、ちゃんぽんが860円が九百幾らに変わっている(?)とか、いろいろそういったものもあるかと思えますけど、この辺の、ちょっと切り替えというんですかね、そういうことを考えられないのかお尋ねいたします。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／議員御指摘のチラシでございますが、確かに、最新情報に更新できなかったというのがございましたのはこちらのほうでも確認しております。

武雄市では、市内の観光資源等をめぐるモデルコースといたしまして、オルレコース、また、各町へのタケさんぽコースを設けて、観光誘客を図っているところでございますが、このチラシにつきましては、在庫がなくなり次第更新をかけて増刷をしている関係で、どうしてもそういうものが生じたということでございますけれども、御指摘のとおり、来ていただけるお客様方に誤った情報をお伝えすることはよくありません(?)ので、今後、増刷等の計画等もしっかり考えながら、掲載内容の見直し等も含め効率的な計画でやっていきたいと考えております。

議長／2番山崎議員

山崎議員／ぜひ、観光客、来ていただいたお客様に対して最新の情報、新しい情報を提供できるように、今後とも改善のほうを進めていただきたいというふうに思います。

細かいこと指摘してすみませんが、先日、ある講義を、熊本の方の講演を聴く機会がありまして、こういうことを言われておりました。

新幹線、これ熊本の方が、通過点に過ぎないということで、情報の発信をするために、こういう言葉を言われたということなんですが、新幹線開業を機に改めて足元の宝に気づき、愛し、磨き、力を合わせて発信していきたいということを最後に言われました。

武雄にもいろんな隠れた宝物、先週、牟田議員のほうからも、あるものを生かそうということも言われました。

本当にいろんな宝があると思います。

一番大切なのは、力を合わせてどうやって発信していくか。

これ、発信というものが、ただ単にホームページに載せればいいのかじゃなくて、発信する

というのはすごい難しいというか、やっぱり皆さんが興味あるように、見てもらえるようにしていかなくちゃいけない。

武雄に何かなかろうかというよりも、どっかいいところなかろうかって(?)、武雄がぽんと出てくるとかですね、九州のどこに行こうかと思ったら武雄が出てくるとかですね。

とにかく発信するということが非常に大切なことで、本当に難しいことだとも思います。

様々なアイデアを出していただいて、これからの武雄市の観光がどんどん盛り上がり、この新幹線開業で、一瞬の盛り上がりじゃなく、これを機に、国スポもありますし、どんどん、どんどん新しい人が、お客さんが来ていただいて、また武雄に来たいんだと、できれば、武雄に住みたいというふうに思っていただけのように努力をしていただきたいというふうに考えます。

これをもちまして、私、山崎の一般質問を終わります。

ありがとうございました。

議長／以上で2番山崎議員の質問を終了させていただきます。

ここで、モニター準備等のため10分程度休憩いたします。

* 休憩中 *

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

次に、9番上田議員の質問を許可いたします。

御登壇を願います。

9番上田議員

上田議員／おはようございます。

ただいま議長より登壇の許可をいただきましたので、これより9番上田雄一の一般質問を始めさせていただきます。

前回9月議会で、すみません、私、濃厚接触者になってしまいまして、ヒアリング等々できませんでしたので、急きょ、一般質問を取り下げさせていただきましたので、ちょっとボリュームが多くなっております。

早速質問に入っていきたいと思います。

今回も武雄市の今後の方向性についてということで、1つ、まちづくりについて、スポーツ振興についてということで、このような内容で質問をさせていただきたいと思います。

まず初めに、9月23日、いよいよ西九州新幹線の暫定開業を迎えました。

賑わいを見せる武雄ということで朝、何時ぐらいでしたっけ、6時前後でしたよね、武雄温泉駅、ごった返すような、人がたくさんいらっしゃいまして、本当にうれしいなと思いました。

これは、テープカットの様子でございます。

これは私のほうが撮った写真なんですけれども、これが、何かにあがっておりました。

このテープカット、あんたセンターやんって言われてですね、何も考えていなかったんですけれども、テープカットの、偶然ですね、私と杉原議員が、そのテープカットのセンターに位置づけているような格好で、もう爆笑してしまいましたけれども、その上ですね、先日、新幹線開業記念ということで、秋田竿燈まつりが武雄のほうにお越しいただきました。

これがですね、岐阜のほうの新聞になるんですけど、タレントさんが1人、1人じゃないですね、タレントさんがお越しいただくということで、最多の46万人と、すごい数がお越しいただいているわけなんですけれども、武雄市も先日行われました秋田竿燈まつり、10万人の方がお越しいただいたということで、本当にうれしいことございました。

これ、過去に質問で使わせていただいたものですけど、30年の10月21日、私も含めて、武雄ロータリーの皆さん、武雄青年会議所の皆さんと共にですね、秋田のほうに、慰霊祭のほうに出席をしていただいたわけでございます。

武雄市長もこのときに一緒にお伺いさせていただいたわけですけど、そのときにですね、秋田市との交流に関する協定を締結ということで、秋田との交流締結をさせていただき、私も偶然、秋田と一緒にいたものですから、参加をさせていただいたところでございます。

その上で今回、武雄市に10万人お越しいただいたこの竿燈まつり、本当に秋田の皆さんが多数ですね、この武雄の地にお越しいただいたわけございまして、まず初めに、この秋田の皆さんへのお礼と、今後どういふことで武雄も返していかなんと思ふわけでございます。

私も、来ていただいたからには何かしら恩を返していけないんじゃないかと思ふわけでございますけれども、これについての市長の見解を改めてお伺いしたいと思います。

議長／小松市長

小松市長／まずは、先日、4年ぶりに開催しました秋田竿燈まつり I N武雄、10万人の御来場をいただきました。

秋田から来ていただいた80名強の皆様にはもちろんですけども、御来場いただいた皆さん、また関係者の全ての皆様には心から感謝を申し上げます。

先ほど、上田議員から秋田との交流協定を締結したということを見せていただきましたけれども、まさに今回の事業は私たちが、当然誘致活動はしたんですけれども、武雄市と秋田市が予算を折半してやったと。

普通は全部こちらお抱えなんですけれども、秋田の皆さんも予算を組んで、そして一緒にしていただいたということで、なおさらやっぱりこう、感謝の気持ちが湧いてきます。

ここに至るのも、やっぱりこれまでロータリークラブの皆さんをはじめ、ずっと秋田との関係、交流を続けてきていただいた皆さんのおかげであり、前回の盛り上がりをつくっていただいた市民の皆さんのおかげであり、とにかくもう感謝の言葉しかないと思っています。

ぜひ、市民の皆さんには、来年、秋田竿燈、現場、本場を見に行っていたきたいなど。

280 本竿燈が出ますので、それも私たちの恩返しの一つであると思いますし、子供の交流を含め、これをきっかけにさらに秋田との交流を深めていきたいと思っています。

議長／9番上田議員

上田議員／秋田竿燈まつり、前は8万人、今回は10万人ということで、私の肌感覚なんですけどね、前回の8万人よりもさらにこう何ていうか、人の密集度が、こう、広がっていたような感覚があつてですね、前回は8万人だったら、もっとおつたとやなかかなというぐらいな感覚で見て、本当にですね、秋田の皆さんに感謝するところでごさいます、私もぜひですね、今度武雄のほうからたくさんの皆さんが行って、恩返しができるようになればいいなと思っておるわけでごさいます。

ここからちょっと個人的な感じの感覚もあるんですけど、私がテレビをよく見る、グルメ番組が僕大好きで、この「バナナマンのせっかくグルメ！！」だったりとかですね、「秘密のケンミンSHOW」とか、もう皆さんもちよいちよ見られるでしょう。

こういういろんな、もうこれ以外にもたくさんありますよね。

たくさんありますけれども、本当にですね、武雄はグルメのところでもたくさんの、皆さんがお越しいただく商材はたくさん持っておるわけですし、ぜひですね、こういうところで取り上げていただけるように我々も頑張っていて、グルメでもあれを武雄に食べに行きたいというような感覚でやっていただきたいなと思うわけです。

ただ一方で、僕が一番大好きなのがこのヒューマン、「オモウマイ店」みたいな形のやつが一番好きなんですけど、これに出るのはなかなかちょっとあんまりまだないなと。

僕が勉強不足で知らないだけかも知りませんので、ぜひ武雄の飲食店さんもこういう番組にも取り上げていただくような商品開発も考えていただければなと思っておるところでごさいます。

それで次にですね、旧庁舎の跡地活用についての質問に入ります。

旧庁舎跡地、これは過去にも何度も何度も質問で出させていただいております。

この部分、今、一番車の密集している部分が旧庁舎があったところですね。

こちらはもともと駐車場、第3駐車場ございましたので。

今現在、跡地は、暫定的に駐車場として活用するというような形ですね、これは過去にもずっと質問を出させていただいておりますけれども、この活用策の進め方、市民の皆さんからも今回の竿燈まつりもそうです、駐車場、はっきりいって、足りないぐらいありましたよね。

そういう中で、旧庁舎の跡地をどのように活用していくのか、いつまで市の職員さんの駐車場として利用するのか、駐車場が足りないと言っている一方で、いつまで駐車場で利用しているのかと、こう矛盾しているところもあるかと思うんですけど、この考え方、進め方をどのように考えているのか、改めて答弁をお願いしたいと思います。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／旧庁舎跡地の活用につきましては、先日も豊村議員のほうでもお答えいたしましたよう、集客施設等の民間活力、それだとか、駐車場として利用していくとお答えしております。

今後につきましては、12月下旬に市場調査、要領案を作成いたしまして、関係団体の意見も聴取いたしまして、3月上旬には要領案を取りまとめまして、3月下旬より市場調査を実施する計画であります。

その後、令和5年に開発のほうにでも、少しでも入れればちゅうふうな考えであります。

議長／9番上田議員

上田議員／その答弁、先に聞いておりましたけれども、これですね、結局ですよ、今ここに、これだけの数の市の職員さんの駐車場として利用されているわけですよ。

ここは夜のお食事等々も、市民の方も含めたくさんの皆さんがやっぱり使われておりますので、なおかつ今回、竿燈まつりでも駐車場が足らなかったというような状況も踏まえると、やっぱり私はここに第3駐車場のところにでも早く、もう早期に立体駐車場を整備しないと、職員さんの車を止めるところありません、でも、開発は考えていきます。

矛盾していますよね、何となく。

できるんですかって。

その跡地活用を考えるためにも、そして、なおかつ水害対策で、常襲水害の危険性があられる地域の皆さんには、今、民間の立体駐車場の皆さんが御協力いただくからこそ車を逃がしていくというような考えで今、対応をされておりますけれども、そもそもここに車を止める場所が、こっだけ止まっている車が、ここを開発するとどっかに止めんといかんわけですよ。

と考えると、ここを民間活力等々も考えながら開発をするのであれば、第3駐車場のところにも、市営の立体駐車場を早期に考えていかないと、武雄のまちづくりは前に進まないんじゃないかと思うわけですが、改めてこれについての考え方を答弁願います。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／先ほど申しましたとおり、第3駐車場につきましては、今後も駐車場として考えていくということでお話しいたしましたが、議員御提案のとおり、やはり日中におきましても市民の皆様が御利用されている、公用車も置いている、市の職員も止めているということから、やはり議員御提案の立体駐車場につきましては、しっかりと検討してまいりたいと思います。

議長／9番上田議員

上田議員／よろしく申し上げます。

次に、この暫定開業を迎えた西九州新幹線については、9月23日より前から後ろから、もうとにかくたくさん声をいただいております。

今、ここに私がいただいたような声が、ちょっと羅列をさせていただいておりますけれども、やっぱり一番多いのは全線フル規格化はどうなるのかと。

こういう尻切れトンボのような新幹線でいつまでいくのかというような話をたくさんいただくわけです。

お前たちはなんしようとかとお叱りの声までいただくほどでございます。

これから、やはり早く全線つないで、西からも東からも、皆さんがこの武雄にお越しいただけるような、お越ししていただきやすいように、前に進めないといけないと思っておるわけですが、これについての答弁をお願いします。

議長／小松市長

小松市長／実際に西九州新幹線に乗られた方とお話をすると、やっぱりつながないといけないうねというような声を多く聞きます。

今回、リレー方式でスタートしましたが、確かにリレーだと、全部の電車が武雄に止まると。

これは市民の利便性という点では、上がるということはあると思うんですけれども、やはり交流人口の点では、やはり効果が薄いと思っています。

長い目で見たときに、やっぱり交流人口の増というのが、地域の持続可能にもつながってきますし、また、災害対策という点でも、私はこれまで同様、フル規格というのが必要であると考えております。

議長／9番上田議員

上田議員／市長からそういう声を聞いてよかったです。

やはり、これからの人口減少社会の中では、やっぱり交流人口を増やして行って、武雄にいかにかくさんの方にお越しいただくかというのをやっぱり考えていかないことには、やっぱり自治体の、まちの衰退というのにつながりかねませんので、ぜひ早期に結んでいきたいわけでございます。

その上で、正直なところ、佐賀県のスタンスというのがちょっと私は全く理解できていないところがあるわけです。

いろんな報道等々を確認をすると、フル規格に対してはそもそも佐賀県は望んでいないとかというような記事があったりだったり、つい最近になってきたら、空港ルートなら一考の価値があるみたいな感じの何となくそういう紙面を見たり、そういう中でちょっとやっぱり私自身は、この佐賀県のスタンス、県のスタンスというのがなかなかちょっと理解できていないところがあるわけでございます。

今回、知事選がもう間もなく控えておるわけですが、その上で市長会は、現職の知事を推薦するという記事がありました。

それを見て、私自身は市長会のメンバーでも全然ございませぬからあれですけども、市長会の記事を見ていると、市長会全体が推薦をしているとなると武雄ももちろんそうだよなど。そこら辺、どのような経緯でそれが決まっているのか。

もちろん小松市長にも、それなりの打診もあったんじゃないかなと思うわけですが、何とかこっちとしてはフルでつなぎましょうよ、フルでつなぐといかんよ、武雄市にはフル規格を全部つないで、佐賀県全体をつないで、九州全体をつないで、日本の背骨の部分に、日本の背骨に武雄を乗せんばいかんというような考えで僕はいるわけですが、そこら辺を踏まえて市長の答弁をいただきたいと思っております。

議長／小松市長

小松市長／新幹線についてフル規格が必要というのは、市長会の中では私と嬉野市の2市が従来から主張しているところであります。

今回の推薦に当たっては、新幹線関係だけではなくて、例えば、今後進めていかなければな

らない治水であるとか、あるいは道路整備、農業政策、そういった全体、総合的な観点から、市長会の総意として推薦をするということが決定したということでございます。

議長／9番上田議員

上田議員／分かりました。

自民党の推薦もあるわけでして、そこもいろいろすったもんだあったという話は伺っておりますけれども、僕も総務会(?)のメンバーではございませんから、もういいんですけど、推薦となったら、それはもちろんやるべきことはちゃんとやりますけれども、そこら辺はしっかり私も立場をわきまえて頑張っていきたいなと思っておりますけれども、それでは次に、これも私に、市民の皆さんからも声をいただいたものでありますし、私自身も感じたところもあるわけです。

暫定開業を行われて、在来線のホームと新幹線のホームが新しく武雄にできました。

これについて、非常に分かりづらい。

なおかつ、博多に向かう際に在来線ホームに行かないといけないものなのか、新幹線のホームから乗るものなのか。

これ、私自身も実際体験したんですけれども、これまでどおり在来線で博多にちょっと出張で行くことがありまして、普通に切符を買おうとしたら、一回在来線ホーム行ったら、もう窓口も当然なかけん、また戻ったわけですね。

戻って、そこで買って、で、在来線ホームに行こうとしよったら、いや、お客さん、違いですよ、こっちですよと言われて、事なきを得たんですけど、そのときにも同じところで切符を買うときも、たくさんの方がいたんですよ、武雄の方が、私の知り合いの人が。

ちょっと分かりにくかねという声をいただいたんですけれども、この辺の声は実際、市のほうに届いておりますか。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／開業後の特急列車の利用の場合で、先ほど議員の御指摘の部分でございますが、これにつきましては私どものほうにも声は届いております。

既に、これについては駅のほうにも要望を行っておりますし、駅JR九州のほうもそこは認識をされており、この今の体型自体が実は事例が全国にはなく、武雄線が初めての事例ということですので、現在は、特急利用者向けにスタッフのほうに誘導案内とか、案内表示の変更などを行って、サービス向上に向けて改善策を現在模索されているという状況でございます。

議長／9番上田議員

上田議員／よかったです、声が届いていたら。

そのときも、私も時間、結構余裕を持って行っていたのでよかったですけど、これまでだったら、うちも駅から自宅も近いので、結構ギリギリに行ったりしていることが多かったんです。

ただ、今回新しくなったんで、ちょっと余裕を持って行ったら、まんまとそれやったんです。武雄の方もやっぱりこれまでの従来どおりのやり方というのに慣れている方はたくさんいらっしゃると思いますので、やはりこの不具合というのは、大きく皆さんに混乱を招く可能性もありますので、ぜひJRとしっかり協議をしていただいて、調整を取っていただきたいなと思っています。

もう既にあれですもんね、駅は電話すらつながらんですよね。

ちょっと私、そこら辺の話をしようと思ってJRにかけたら、音声ダイヤルですかね、何番かを押さんといかんような番号をずっとアナウンスされて、その電話をかけてって、で、料金やったら1を押してとか、そういう感じの対応に変わっていたので、がっかりだなと思いつながら。

ですので、ぜひ早期に、市民の皆さんの混乱を招かないように前に進めていただきたいなと思っています。

次に、JR関係で、これはそれこそ、これも何度も何度もこの場で質問をさせていただいていますが、在来線の自動改札、IC化をぜひというところを要望すべきということで、ずっと質問をしておりましたが、残念ながら、もちろん新幹線のホームは自動改札にはなっていますけれども、ICは、あれまだ対応しとらんとですよね、していないんですよね。だからもう、ぜひそこをまずやってほしいなというところで、8月23日に、これ佐賀新聞の記事なんですけど、佐賀、長崎でIC乗車拡大ということで記事がありました。

突然前に進んだというような形で、新たに19駅、2024年度利用開始へということで、JR九州と両県が導入を合意したという記事があります。

本当に喜ばしいところなんです。

これが今までの、今のICの利用可能路線図なんですけど、赤いところが利用可能なんですよね。

残念ながら、この佐賀の鍋島から、ここぼんって、武雄を含めてここが全部飛んでいるわけなんです。

だから、これがずっとこのような状態で赤く網掛けが、2024年度ですね。

2024年って、あと2年後、間に合うんですかと言いたいところもあるんですけど、もっとは

ようにしてほしいという希望的観測を含めて、この件について見解を。
新聞情報しか知りませんので、ぜひお願いしたいと思います。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／このICカード化の情報でございますが、まずJR九州と佐賀県が平成28年の8月に包括的連携協定というものを取り組んでおられまして、その中で、ICカードエリアの拡大に関するということが明記されております。

我々も県のほうに、毎年市長会とかで知事要望を行ったり、今年度につきましては、市長町が直接、JR九州の所長とも要望をしてきたということで、これにつきましては先ほど申し上げましたとおり、県と平成28年から協定を結んだ中で、既に検討されていたという中で、今回発表があったというふうに伺っております。

先ほど議員からありました、8月22日に包括的連携協定の指針にのっとりまして、2024年度よりICカードの乗車券を西九州エリアに導入するということが発表されまして、この後2年以上かかるということでございますが、これにつきましては、交通系のICカード導入の経路につきましては、全国協議会の組織というものがございまして、そこで承認後に着工ということで、どうしても1年から2年はかかるということで、今のところの計画では、2024年、できるだけ早い着工というふうには伺っております。

議長／9番上田議員

上田議員／すみません、先ほどの答弁で、ちょっと確認ですけど、承認をされるまでに時間がかかるという答弁なのか、もう既に承認されたので、2024年度の導入を目指して前に進もうとしているのか、どちらですか、確認します。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／今回の8月の発表は、沿線自治体等とのこれまでの、県との協議を行った上で、JR九州と佐賀県とで確認を取った、佐賀県、長崎県もありますけれども、確認を取ったということで、承認等についてはこれからで***。

議長／9番上田議員

上田議員／そういうことですね、分かりました。

もう、やはりとにかく一日も早く、これはもう何とかしないとイケないと思うところですので、もうぜひ、早期に前に進んでいくようお願いをしたいと思います。

続いて、JRについて、またもう一つ、私に、若い方がこう、声をいただいたんです。

まだまだ20代くらいの方なんですけれども。

博多の往復切符の金額がどんどん、前とするとずっと上がっていると。

その方は、どこでしたっけ、どこからか武雄に移住されてきた方なんです。

武雄が本当にどこに行くにも便利、どこに移動するにも本当に便がいい、都合がいいということで、武雄に住んでいるということでお話を伺ったわけですが、博多往復切符の価格について、武雄温泉から博多がここ、地図が小さいから見えなくて結構ですけど、ちょっと料金を、今現在の料金はこういう形になっています。

博多、鳥栖は、2,640円で往復になるんですけど、これは、博多、鳥栖間は快速列車、快速電車が多数あるので、ほとんど利用される方は、往復で利用される方ってほとんどいないそうなんです、JRの方からお話を聞くと。

ですので、2枚切符もなければ、極端に言うと、佐賀よりも高くなって、佐賀を往復するよりも高くなっている現象が起きています。

ただし、これはもうほとんど、利用される方がほとんどいないですもんねって。

ですので、そういう形で話を伺いました。

佐賀と博多の往復は2枚切符で2,500円、博多、江北ですよ、今ね。

肥前山口じゃないですよ、江北ですよ。

江北、博多往復は3,680円の2枚切符があると。

武雄温泉は2枚切符がないので、通常に買われると6,820円だそうです。

ただ、佐世保往復が、佐世保、博多往復が4,700円の2枚切符というのがあるので、武雄温泉の方も、2枚切符を佐世保、博多往復分で購入されて、4,700円になっているというような現象が起きている状況でございます。

実際、今回、私に寄せられた若い方の声は、この4,700円が以前からすると、どんどん、どんどん上がっているというような形の話をお伺いしました。

確かに、昔は4,000円切っていたと思うんです、私が若い頃ぐらい。

何年ぐらい前かはちょっとよく分かりませんが、3,000円後半という時代もあったと思うですもんね。

ただ、今はコロナだったりウクライナ情勢、そこら辺も踏まえてですけど、これはでもあまり関係なくどんどん上がってこの金額になったような気がしますけど。

ただ、JRの料金体系も距離と時間とかというような形で、ある程度、設定されていると思うんですけど、やはり佐世保と博多を往復する金額と一緒に、何かやっぱり違和感がああとですよ。

こちら辺について、料金のこれ、今後、博多、武雄、もちろん新幹線の切符もいろんな観光で乗り降り自由にとか、いろいろ市のほうも動いて頑張っていたいてるのは重々承知しておりますけれども、ここの博多、武雄温泉、これが安ければやっぱりランチを食べるお金もなくなるとかいう話も伺ったわけで、こちら辺、どのようなことで市のほう、今後、考えていただけるか答弁願います。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／議員御指摘のとおり、令和3年の3月までは、武雄温泉博多間ということで、窓口で購入する切符、いわゆる2枚切符、これは4,400円で販売をされておりましたが、現在、廃止をされております。

今、利用されている中で、窓口で購入される場合は、佐世保博多間の4,700円ということで利用されている方というふうに伺っておりますが、この2枚切符につきましては、佐世保や長崎の終点のほか江北駅など分岐点で販売されているということから、開業後、武雄温泉駅も西九州新幹線と佐世保線との分岐点ということになりますので、利用者の増も予想されるということで、我々といたしましては、ぜひこの2枚切符の復活については県を通じてJR九州に要望をしていきたいと考えています。

なお、これはネットから購入する切符でありましたら、現在も武雄温泉博多間は片道2,200円、往復で4,400円で購入することができるというふうに伺っております。

議長／9番上田議員

上田議員／ぜひ、復活を要望していただいて、前に進めていただきたいなと思います。

ネットで買えば4,400円でまた買えるということでございます。

こちら辺、ネットで買える人と買えない人といらっしゃると思うんですね。

ですので、ネットで買うともっと安く、ネットでじゃなくて切符で買うと4,400円で、ネットで買うと4,000円ぐらい、せめて交渉をしていただければなというふうに思います。

次に行きます。

次に、まちづくりの県道拡幅についてでございますけれども、この地図は小楠交差点を映した地図でございますけれども、小楠交差点から南を向いた写真になります。

県道53号、武雄伊万里線ですかね。

ここも拡幅の計画というか、あるかと思うわけですがけれども、今現在、近隣の住民、住まわれている住民の皆さんからいただいた声ですけど、これ、どがなんいよとやというような形でいただいたりしているわけで、ここの拡幅工事の、今後の計画とか、どのようになっ

るのか答弁願いたいと思います。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／先ほど議員が言われました、県道武雄伊万里線ですが、この整備につきましては、令和2年度に事業認可を受けまして測量設計を行い、令和3年度には用地測量が完了しており、今年度から建物調査及び用地買収が進められております。

今後、引き続き用地買収や工事の進捗を図りながら、令和8年度工事完了を目指して進めていくとのことで回答がっております。

議長／9番上田議員

上田議員／令和8年度完了を目指すということですね。

先日、住民説明会ですかね、そこら辺があったかと思うわけですけど、令和8年、長いですね。

あと4年ぐらいかかるわけですよ。

分かりました。

そうしたら、この小楠交差点から、今度は東側を向いた写真になります。

小楠交差点よりちょっと先に進んで、これは武雄中学校の前の道、武雄中学校の南側の道になるわけですけど、これは県道24号線、県道24号線も拡幅の計画があるかと思えます。

もう県の話やけんが、武雄市にやあやあ言うてもということでありましてけれども、やっぱり武雄の住民の皆さんがどうなっているんだというように疑問を持たれております。

武雄市としても早期に前に進めていただきたいというところをどのような形で動かれているのかも含めて、この県道24号の拡幅の計画はどのようになっておられるのか。

武雄中学校まではある程度、拡幅がもう済んでおります。

中学校を過ぎた、中学校の校門の前から、武雄中学校から東側の道ですね、ぜひこの今後の計画、どのようになっているのか答弁願いたいと思います。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／議員が質問されております県道につきましては、県道武雄多久線なりますけれども、小楠交差点付近から甘久交差点付近までの整備ということになりますけれども、これについても杵藤土木事務所に確認しておりますけれども、今後、まちづくりを踏まえどのような形で事業を行うのか、市や地元関係者と協議を進めていきたいとのことであります。

そのため、令和5年度には、道路利用状況の把握のために交通量調査を予定しているとのことであり、武雄市としても早期事業着手に向けて、引き続き県に要望していきたいと考えておりますけれど、市の対応としても、これまでに知事要望ということで、小楠交差点付近から武雄中学校の間について、平成29年度にくくりつけの工事が完了して、それから甘久交差点までの間について、県知事要望において幹線道路の（？）整備促進の中で、当該道路の早期整備促進を継続して要望しております、その中でも継続して要望している状況でございます。

議長／9番上田議員

上田議員／要望している状況ということであれば、スケジュール的に何も決まっとらんということですよ。

となるとですね、ここから先のお住まいの皆さん今、本当にもうお困りなんですよ。というのは、水道管の関係とかもあって、かなり老朽管がここら辺、本管入っておりますので、ぜひ早く前に進めてやらないことには、ここら辺に住まわれている方は本当に不具合を持たれているわけです。

ですので、武雄市としても早期に実現の要望をお願いしたいと、動いてほしいと思いますけれども、先ほど市長答弁いただきました。

新幹線は抜きにしてということでありました。ここら辺、県道拡幅早期にということで、推薦の（？）あれに、ぜひお願いをしてほしいなと思います。

僕は話すこともありませんから、ぜひ市長、お願いをしたいと思いますが、どうでしょうか。

議長／小松市長

小松市長／ぜひ上田さんから知事にもお話ししていただきたいと思いますが。

ここにつきましては、とにかく早期事業着手に向けて、しっかりとそこは県に要望してまいります。

議長／9番上田議員

上田議員／ぜひよろしくお願ひします。

次に行きます。

次にスポーツ振興についてに移りますけれども、これは毎度毎度、見せておりますけれども、令和3年度夏、3か月間芝生を、グラウンドを一切使用禁止にして、芝生の養生をされてい

る光景でございますけれども、その冬、もうこんな状態でした。

正直、私も市民体育大会で砲丸投げとリレーに出ないといけなかったので、アップで走った
らですね、やっぱり走られんとですよ、怖くて。

やっぱりこの年になるとちょっとした足のつまづきが、もう重大事故みたいな形でですね、
とにかく、けがだけできない、けがだけできないというような形でアップをしたわけござ
いますけれども。

走るのはグラウンドのほうですので、整地はされているわけですが。

歩くのはいいですよ、まだ。

でも、走ったり、もうサッカーなんか、もう真っ直ぐボールが転がらないというのは、ここ
でも何度も説明をさせていただいております、フィールドのほうは人工芝化をやってくれ
という声を多数いただいているわけで、ここでも何度も何度も話をさせていただいております。
トラックのほうは、このようにタータン的な形で、これは私がただ色を乗せただけですけれ
ども、タータンの設置を望む声がたくさんあります。

その上で、総務常任委員会のほうで視察に行っていました。

そのときの絵がこちらでございます、確かに天然芝も青々としておりました。

何月やったですかね、先月、10月。

10月でもこの状態で、もう本当に。

確かにきれいですよ。

こんだけの芝生、高知県立青少年センターというところ見に行ったわけですがけれども、本当
に革靴では入ったら駄目やろうなというぐらいのきれいな芝生でした。

よくよく話を聞いていると、この芝生のピッチは週末だけしか利用させませんって。

だから、平日使えない。

週末、土日だけ。

そしたら、週の中日に旗日があったときはどうなるんですかと聞いたら、旗日も対象外です
と。

あくまでも土日だけしか利用されていない。

だからこの状態が維持できるんだなというのを、もう率直に感じたわけです。

タータンの部分は平日でも何でも利用が可能と。

武雄の白岩の場合は、そういうことできんですよ。

あそこが競技場として、市内唯一の競技場なので。

これが上空の写真ですけれども、これももう毎度、質問で使っていますけど、今度、自分で
色をのせて、引いてというような形でしたけですけれども。

とにかく、まずは、ピッチのフィールドのところの人工芝化を早く進めてほしいと。

もちろん、全面タータンまでできればそれが一番ですけれども、なかなか前に進まないと思

いますので、まずはこっちでもと思うわけです。

両方一遍にできればそれが理想ですよ。

ただし、本当にここを使っているだけでけがをします。

危険性が非常に高い。

ただし、武雄にとってここを今の芝生の天然芝で週末だけしか利用させないというのは、ほぼ難しい。

そうなると、ふだん使いたい人が多分納得されないと思います。

ですので、企業版のふるさと納税だったり、クラウドファンディングだったり、そういうのをいろんな制度を早くつくって、早急にここの改修の計画の策定をしていくべきだと。

まず、とにかく、一番最初、とにかくこのフィールドの中を天然芝じゃなくて、もう天然芝を剥がして、もう人工芝にするという方針だけでも前に進めないといかんとやないかと思うわけですけど。

公民館方式でもいいと思うんですよ。

公民館、入ったらですよ、過去に寄附しんかった人たちの名前のばつとああですよ。

私も地元の公民館だったり、よその公民館だったり聞くと、地元の公民館とか行ったら、おやじの名前とか見たらやっぱりうれしかですもんね。

そういう形で、いろんな市民の方から寄附（？）どっかの壁にこう寄贈者の名前ば一と書いてというやり方でもいいかと思うわけです。

クラウドファンディングでされた方はこういう方ですとか、そういうのをいろいろとにかく制度をいっぱい考えて、早くこの市民の皆さんの福祉の向上に、スポーツ振興の向上につなげてほしい思いがあるんですけど、これについて答弁願います。

庭木企画部長／議員御提案いただきました、ふるさと納税の件につきましてでございますけど、やはりこういう大型の事業につきましては、複数年要することもありますから、基金に積み立てる必要がございます。

そのために現在、国や県に相談しながら、例規等の整備を進めるところでございます。

また、議員御提案のクラウドファンディングにしろ、様々な趣向を凝らしまして、市民の安全性、利便性に考慮した球場、人工芝なり、天然芝なりで、早く、早急に進められればと考えております。

議長／9番上田議員

上田議員／いや、だから、制度設計をして、そこから開始しても何年かかかるわけですよ。ですので、それを早くしてほしいと。

でも人工芝なり、天然芝なりって、そこで答弁で天然芝と言うぎんた、またそっからなごうなるじゃなかですか。

もう、天然芝やったら、あの状態を維持しようとしたら、週末だけの利用を制限しないと使えないから、やっぱりもう人工芝で整備すべきだと。

これは、もう私も20年以上サッカーしていますからあれですけど、これ他区の競技場ですよ、もう何年も前から整備されていますよ。

たくさんの方がここでサッカーの試合されています。

私も何度もここで試合していますけど、今でも全然、まだまだばりばりきれいですよ。

何年かたっていますけど、もう大雨でボールが動かないぐらい水がたまって、しばらくしたら水引いて、雨が止めさえすれば水が引いて、この状態に戻るわけです。

天然芝の人工芝だったら、もう絶対、試合続行不可能というぐらいの状況になりますけれども、人工芝だったらこのような形でできるんです。

ですので、もう私は、白岩はぜひ早期に、早く人工芝化を決定して、前に進んで、クラウドファンディングになると、そういうのが何年かかるんだったら、もうそこまで設計をして前に進めてほしいなと思うわけでございます。

次行きます。

次は、国民スポーツ大会が2024年、武雄の地で開催されます。

武雄じゃない、佐賀県で。

武雄市は自転車競技、軟式野球、ゴルフが、国スポが行われますけれども、先日、栃木国体が今年ありまして、先月見てきました。

とにかく、佐賀県選手団も頑張っておりまして、武雄競輪に関係する皆さんがもう本当に、多数頑張っておられました。

ロードのほうがこれですね。

とにかくここを見て、もう驚愕としたんですけれども、全国規模の大会で、自転車競技のスタッフ、物すごい必要ですよ。

びっくりするくらいいっぱい、多数のボランティアの方がいらっしゃいました。

ボランティアの方も、各役割ごとにシャツの色が全部違って、オレンジの軍団がいるかと思ったら、今度黄色の軍団がいて、青い軍団がいて、緑の軍団がいてというような形で、その中には警備員の方もいらっしゃって、警察の方もという形で、非常に、全国的な規模の大会はやっぱり規模が違うなと思いながら、これがもう2024年、武雄の地に来るわけですよ、自転車競技が。

ロードは別ですよ、ロードは大分に行きますから、武雄じゃなくてですね。

バンクのほうのトラックレースは武雄競輪場で行われます。

今回、その国スポに合わせて、正直、今のスポーツ課の対応で間に合うのかなと。

なぜこの質問をしているかと言いますと、先ほど来、私もグラウンドの改修のお願いを、質問をさせていただいておりますけど、それもスポーツ課が考えていく。

私のその前に質問をされた山崎議員の質問でも、相撲場のこともスポーツ課でしょう。

それに、今、指定管理、グラウンドの管理運営の指定管理が否決されたことによって、今の球場の管理運営もスポーツ課でやりよるわけですね。

それ以外にも、スポーツ課、私これ、過去にもここで質問をさせていただきましたけど、テニスコートの老朽化についても早く、一日も早く競技団体と調整を取ってくださいと、話を聞いてやってくださいということをお願いもしています。

だけど、それが実現しているかどうかは、確認まだしておりませんが、それもスポーツ課ですよね。

相撲道場の関係、実施、相撲道場の調整もスポーツ課にやっていただいております。

その上で、その仕事をこなしている上で、2024の準備もしないといけない。

マンパワーは足りているのか。

選挙をもう間近に控えている市長に、もうそこをちょっと、ある程度、ここ考えてやらんといかんよという質問をするのは、ちょっと今タイミング的に悪いかも分かりませんが、そこら辺、市長の認識を聞きたいと思います。

議長／小松市長

小松市長／約半世紀ぶりに、この佐賀に国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会がやってきます。

私としては、やはりこれを武雄市のスポーツのまちづくりにつなげていきたいですし、何より全国からたくさんお客様が来られますので、万全の体制でお迎えしなければならない。

成功させなければいけないというふうに思っています。

そういう意味で、今年度、スポーツ課の国スポ担当を任期つきも専属も合わせて4人増員をしました。

ここについては、とにかく確実に進めていける体制を今後もしっかりと確保していきたいと思っています。

あわせて、今ボランティアスタッフの話もいただきました。

ここについては、競技団体と市の職員だけでは到底できないと、多くの人の力が必要になってきます。

そのために今後ボランティアスタッフであったり、あるいは競技の補助員、そういった人たち、いわゆる支えるスポーツというところに関わっていただきやすい環境というのをあわせてつくってきたいと考えております。

そういったことで、とにかく 2024 の大会を、武雄市のスポーツの盛り上がりに加えて、確実に成功させるためにここはしっかりと進めていきたいと考えております。

議長／9 番上田議員

上田議員／そうですね、私も現地に行って、やはり見える部分も多数あったので、ぜひ(?)この質問をさせていただいたわけでございます。

現地に行ったらですね、学生のスタッフも結構いっぱいいらっしゃったので、もうそこら辺をひっくるめて、ただそこも準備をしないといけないわけです。

とにかくバンクのトラックレースはですね、もう全国各地から見られると。

宇都宮市競輪場を利用しての自転車競技が実施をされていましたが、宇都宮競輪は昔の武雄競輪みたいな形で施設が大きかったですよ。

だから、各県ブース(?)でずっと、その中ありましたけど、とてもじゃなかですけど、立て直った今の武雄競輪の施設の中じゃ、とてもじゃない、実施難しいだろうなと思ったので、今回、その準備も含めて計画を立てていかんといかんのので、質問させていただいたわけでございます。

ぜひよろしく申し上げます。

次に行きます。

競輪場施設の今後でございますけれども、競輪事業の一般会計繰入金、何度も何度も武雄市の一般会計に繰入が行われているかと思うわけですが、これまでもこれからもやられていただいております。

競輪事業、本当に頑張ってくださいしておりますが、これの今の状況はどのような形に推移しているのか、答弁いただきたいと思っております。

議長／黒尾営業部理事

黒尾営業部理事／おはようございます。

一般会計繰出につきましては、平成 30 年度から令和 2 年度まで各年度 8,000 万円ずつ、令和 3 年度は 2 億 8,000 万円を繰り出しております。

令和 4 年度は 3 億 8,000 万円を繰り出すよう予算化しております。

令和 5 年度以降は各年度 8,000 万以上の繰り出しを計画しているところでございます。

議長／9 番上田議員

上田議員／今の答弁を、こう、表でも出しとたらもっと皆さんね、競輪事業がどんだけ頑張っているというのがよく分かるんじゃないかと思うわけですけどね、口頭だけで残念です。まあ、競輪事業もしっかり繰り入れしていただいて、頑張っているのはもうお分かりかと思えますけど、選手の宿舎等の施設整備の計画があるかと思えますけど、そこら辺は今、状況どうなっているか、お伺いします。

議長／黒尾営業部理事

黒尾営業部理事／モニターをお願いします。

先ほど議員さんが指摘されました、一緒に、一般会計と施設整備基金の表をつくっておりましたので、その分になります。

施設整備基金につきましては、この平成28年度から基金を積み立てておまして、令和4年度は4億円を予算化しているところでございます。

令和4年度末で積立額が総額36億円となり、そのうち34億円は令和7年度から着工予定の選手宿舎等整備に充てる計画でございます。

なお、令和5年度以降は選手宿舎等を除く設備に充当する計画もでございます。

議長／9番上田議員

上田議員／つくっとうなんや(?) 最初から出してくださいよ。

ぜひお願いします。

もう、やっぱり頑張っていたきようけんですね、応援してやりたいなと思うところもあって。

そしたらですね、この競輪事業と直接的には関わりはないかも分からないんですけども、コロナ禍の中でもですね、今のその競輪場にたくさん皆さんがお越しにいたっている場所があるわけです。

それがですね、例えばですね、BMX場ですよ。

ここが、この写真は出来上がった当初の写真です。

すみません、最近の写真を入れ損なっております。

これが出来上がった当初です。

ここでたくさんの皆さん、子供さんたちが遊びに来られているんです。

ストライダーだったり、BMXだったり、たくさんの皆さんがお越しをいただいている中で、ありがたいことに利用頻度が高いものですから、この斜面というか、こぶですね、これがもう低くなったり等、なおかつ一番いけないのは、もうとにかく路面の泥が、もう剥がれてき

て、とにかく、何というんですか、雨水、要は水はけが悪すぎて、雨が降った翌日はほぼほぼ使えんとですよ。

そういう声をたくさんいただいておりますので、ぜひこの雨天後の排水、そうそう、排水がもうかなり悪くなっているということで、この施設の環境改善を早期にお願いをしたいわけですが、御答弁願います。

議長／黒尾営業部理事

黒尾営業部理事／議員御指摘のとおり、BMXコースの整備につきましては前向きに検討してまいります。

議長／9番上田議員

上田議員／前向きに検討をお願いします。

もう競輪場もこんだけ頑張りようたげん(?)ですね、競輪場の施設整備をある程度、私は使うべきだと思いますので、もうぜひ、今年度中とは言わんばってん、来年度中までには絶対もう実現してください。

もう早期、もう一日も早く、もうすぐやりますという、逆に僕は答弁をほしかったぐらいですから、ぜひお願いをします。

それでは最後の質問になりますよし(?)。

あと5分、4分。

部活動の地域移行について。

これは初日に古賀議員も質問をされておりましたけど、この働き方改革を踏まえた部活動改革ということで、過去に私も何度も何度もこの質問をさせていただいておりますけど、結局は外部指導の積極的な雇用か、社会体育との連携しかなかやろうもんというような質問もずっと常々させていただいておりました。

その上で、市内中学校の部活動の方向性というのは、古賀議員とどのような答弁が変わって、変わるというか、もうちょっと詳しく整理(?)方向性を答弁願いたいと思います。

議長／松尾教育長

松尾教育長／おはようございます。

中学校部活動の地域移行のことでございますけれども、現在、国のほうで部活動の在り方を定めたガイドラインの改定案が公表されております。

この改定案には、地域の子供たちは学校を含めた地域で育てるということが、そういう意識で進めていきなさいというようなことも示されているところです。

そういったことから、先日開きました検討委員会でも、議員御指摘のとおり、外部指導者の確保、部活動の地域での受け皿づくりというようなことで、市内の社会体育団体、あるいは文化芸術団体の御理解、御協力が不可欠というようなことで、意見が出されたところでございます。

その方向で今後検討してまいりたいと思っています。

議長／9番上田議員

上田議員／部活動改革は、締め切りというか、当初は令和8年やったですかね。

8年ですかね、そのお尻が何となくこう、目標値があったかと思うんですけど、それがそもそもなくなったわけですか、まだ、何となく消えたんですよ。

その上で、その部活動改革の中で、なんば言おうとしよったかな、武雄市はもうとにかく、この2点、2本柱のどちらかを進めていくしかないんじゃないかというところの説明をさせていただいたんですけど、今の中学校の部活動は、今の指針からいくと、平日の2時間、休日3時間以内とか、土日どちらかは休みを取らんといかんって、もう何を言っているんだろうなというところで、学校教員のその働き方改革と、生徒が望む能力向上を、多分もう、うちはどちらかという体育会系の子供しかおらんもんやけん、もう絶対に納得せんはずでもんね。

ただ、でも、どちらかというと、文化系の子になったらこれでもいいのかなと。

文化系じゃなかね、そこそこ日頃からスポーツをすればと。

この辺がちょっと、もう57秒、あらら、ということで、とにかく社会体育の積極的な連携を密に取っていただきたい。

それで、なおかつこの部活動改革のためには、部活動の社会体育化というのも、一つ、学校の先生たちが集まってやっていくという手も一つあるんじゃないかと思うわけです。

とにかく、この部活動改革のために国は何をしてくれるのかというのを、もっと、やはり突き上げて、部活、子供たちがとにかくこの改革に関わっている年代って、今の、例えば、小学校5、6年生、4年生ぐらいから5、6年生の子たちが、たまたまこの年に当たったけん、もう何かわけ分からんことになっとうというような形ならんで済むように、ぜひ積極的に前に進めていただきたいと思いますが、これについて答弁、答弁もろうてよかとですかね。最後。

議長／松尾教育長

松尾教育長／移行期の子供たちが、本当に、どうしたらいいか分からないということだけは絶対避けなくてはなりませんので、そういうことで進めていきたいと思います。

議長／9番上田議員

上田議員／以上で終わります。

ありがとうございました。

議長／以上で9番上田議員の質問を終了させていただきます。

ここで、モニター準備のため10分程度休憩いたします。

* 休憩中 *

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

次に、16番松尾議員の質問を許可いたします。

御登壇願います。

16番松尾議員

松尾議員／皆さんこんにちは。

最後の質問ですね。

あと、しばらくお付き合いをお願いします。

議長より登壇の許可をいただきましたので、16番松尾初秋の一般質問させていただきます。

執行部の答弁は簡潔で正確にお願い申し上げます。

本年の4月に制定され、まず、プラごみの分別の新法が本年の4月に制定され、分別が努力義務になるような話ですが、義務を求めるならば国からの予算措置が伴わなければならないと思いますが、予算措置はどうなっているのか、まずもってお尋ねします。

議長／山口環境部長

山口環境部長／国、県の支援については十分には示されておられません。

分別収集及び再商品化にかかる委託料について、国の特別交付税措置の検討はされておりますが、現在、具体的には決まっていないという状況でございます。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／やっぱり示されていないとか、まだ決まっていないとかですよ、やっぱり義務というなら、これは絶対ですよ。

予算ばつけんばいかんですもんね、はっきりですよ。

銭ばつけんぎ話にならんでしょうが。

義務を求めるならばですよ。

実は、容器包装プラスチックの回収の廃止を、経過についてお尋ねしていくんだけどね、これ実は、私が平成 29 年 3 月議会でこれ提言したわけですよ。

そして、平成 30 年 4 月に廃止をしたと。

一番の問題は分別委託費用がかかり過ぎているという話がありました。

それで、ちょうどそのとき、伊万里で西部クリーンセンターができたので、もう熱回収、サーマルリサイクルで取り組んだらよかじやなかですかというふうな話をして、今さっき話したように、4 月から廃止してそういうふうにしたんですけれども。

質問として、回収を廃止した経過については、これでよかでしょうか、どがんでしょうか。

議長／山口環境部長

山口環境部長／廃止した経緯でございますが、分別委託経費が焼却処分費と比べて非常に大きかったこと、分別したプラの約 70% 実質焼却処分となっていたこと、そして、加えて先ほど議員おっしゃられましたように、さが西部クリーンセンターにおいては、焼却による熱回収が可能になったということなどから廃止にいたっております。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／今、経過を聞いたんですけれどもね、質問としてですよ、今回、また再開するというふうになった場合、問題点は私はたくさんあると思うんですけれども、考えられる（？）問題点、何ですか。

議長／山口環境部長

山口環境部長／大きな問題点としては 3 つございますが、1 つ目は、分別による市民への負担が大きくなること。

2つ目は、全てのプラが対象となり分別が複雑になること、3つ目は、回収する量が増えるため受け入れる事業所が必要になることなどが考えられます。

議長／16番松尾議員

松尾議員／国策なので、進めばいかんかも分かりませんが、予算もついとらんし、何もついとらんでしょ。

でも、私は安易に進めるべきでは、安易に戻すべきではないと思うわけすよね。

確かに、プラスチックのですよ、ケチャップとかマヨネーズとか、水で洗ろうてですよ、やぐらしかですよ、はっきり言うて。

だから、私はそういうふうに思います。

質問として、今後の方針どがんですか。

議長／山口環境部長

山口環境部長／現在行っております、先ほど言われました熱回収、いわゆるサーマルリサイクルについても有効であるとは思われますが、今後、国の方針とあわせ、佐賀県西部広域環境組合の構成市町と協議検討していくということになります。

議長／16番松尾議員

松尾議員／ゆっくりと、私としては進めていただきたいと思えますけれども。

次に、野焼きについてでございます。

これは、実はずちの近所の話は今からしますけれどね。

野焼きで、農業とかそういうので生じた場合は、やむを得ない場合は野焼きをしていいとなっておりますよね。

そして、武雄市としてはですよ、何ですかね、配慮してくださいと、洗濯物とかなんとかに配慮してくださいということで進んでおるんですけども、その人は、昼に1回燃やして、警察が来たりなにしたりしてですよ、これはいかんということで、夕方ですよ、夜というか、夕方、ちょうど去年の今ぐらいの話ですよ。

今ぐらいの話ですよ。

もう夜つちゅうか、夕方ぐらい燃やしよんさったけん、温度が上がらあじ煙だらけになって、また、そのときもまた警察も来たとですよ。

煙だらけになってですよ。

その人は、真面目な人ですよ。

配慮をして、夜も燃やしよんさったあわけですよ。

そんなときも警察も来ました。

私も近所やったけん、いやあ、警察官もあんましんされんとですよ、燃やしたらいかんですもんねの一点張りですよ。

いや、そうじゃないですよと、そんなときも説明しました。

農業とか林業とか、そういうので生じた場合は、やむを得ん場合、燃やしてよかことなっとうですもんねって提示(?)しましたよ。

そういうことがありました。

もう悲惨な話ですよ。

昼燃やして巡査も来てあれしたりって、警察も来たけんですよ、夜燃やしとんさあとですよ、夕方ぐらいに。

温度のひくけん、燃やじですよ、もう煙もくもくですよ。

臭いもしました。

そのことどう思いますか。

議長／山口環境部長

山口環境部長／配慮していただいたにも関わらず、こういった事例になったということは、非常に残念なことだと思います。

議長／16番松尾議員

松尾議員／本当に残念な話です。

私は、もう決めました、のう配慮はせんって、はっきり言ってですよ。

配慮もしようぎさばけん(?)ですもん。

百姓しよってですよ、考えてみてくださいよ。

昼の日なかに、天気の良いときは洗濯もありますよ。

草とかも燃えやすいですよ。

でも、今まで配慮していましたよ。

でもね、よくよく考えたらですよ、これ、自分の考え今から言うんだけどもね、私は周囲に配慮するのやめました。

それはね、家の近くに山とか畑とか田んぼとかああぎですよ、そこに家があったら、虫の害とか、農薬の害とか、煙の害とか、こういうのは想定内ですもんね。

よくよく考えたら想定内ですよ。

そいばってんですよ、その代わりといっちゃなんですけどね、緑とか、自然とか、田園とか
が享受できるわけでしょう。

私はそう思います。

もう山とか畑とかあったら、田んぼとかあったら、虫の害とか、農薬の害とか、煙の害とか
想定内ですもん。

それが嫌やき、まちに引っ越しするしかなかとですよ、まさに。

そがんとこなかこのですよ。

私はそう思いますけど、どがん思うんですか。

議長／山口環境部長

山口環境部長／市の立場からお答えはできません。

議長／16番松尾議員

松尾議員／それはお役人さんやけ、それは言われんでしょうね、それは分かっとうですよ、
言われんですよ。

でも、やっぱり、私も自分の考えを繰り返すんだけどね、やっぱり虫の害とか、農薬の害と
か、煙の害とか煙の害とか、想定内ですもんね。

もうそれは引っ越ししかなかともん。

やっぱりね、世の中もっと広い心で寛容な世の中にならんばいかんとですよ。

一回一回、警察官の来て何して（？）ですよ、そんな世の中じゃだめですよ、私はつくづく
思います。

もうこれ以上このことは言いませんけどね、私の意見をしっかり言いました。

次に、公共下水道についてお尋ねしていきたいと思っておりますけども、ちょっと写真見せます。

実は、これは新しか、武雄の今度は何ですかね、市民体育館ですかね、今、建設中ですね。

実はここに、下水道の管が今度初めて入るという話を聞いていますけれども、これ、間違
いがないですか、どうですか。

議長／山口環境部長

山口環境部長／議員おっしゃるとおり、現在建設中の武雄市民体育館については、区域外流
入という形で下水道に接続するようしております。

今回、初めて武雄川を横断することになります。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／実は、これが私の地区ですね、花島地区ですよ。

今度できるのはここですよ、市民体育館ですね。

そして初めて、今までは武雄の南側、公共下水道は管はなかったですよ。

今回、今まで北側だけですよ。

それでもこの武雄川からこっちはなかったけど、この浄化センター、これ最終処理のところですよ、公共下水道の、これはうちの地区にああとですよ、今までは、この地区にあつてですよ。

分かりやすい言うぎ、迷惑施設ですよ。

そがんとつき（？）あったわけですよ。

そこで、公共下水道の恩恵を受けられんやったわけです、今までは。

最終的には広げてくれという話になってくるんだけどね。

これですよ。

実はね、これ、要するに、公共下水道の恩恵を受けられんやったけんですよ、少なくとも下水路の整備ばしてくださいって私はずっと要望して、今、1、2、3、4いっぱいしてもらいました、代わりに。

迷惑施設だけうちに来てですよ、その代わりに、もう下水路***してくんさいって言うてしてらいました。

これ、何年間でどんぐらい、何キロぐらいで、幾らぐらい使いましたか。

議長／山口環境部長

山口環境部長／整備実績でございますが、花島永島地区排水路事業として、平成16年から平成26年まで整備をしております。

総延長が2,125.2メートル、工事費が全体で7,864万3,000円となっております。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／7,800万ぐらい使うてですよ、下水道内との整備をしてもうたわけですよ、今までずっと。

それはよく分かりました。

ほんですよ、今後ですよ、こういうふうここに管が来ますよね。

武雄川から南部のほうに来るわけですよ。

やっぱり私が住んでいる花島地区なんかに、どんどん下水道が、下水道じゃないですね、下水管ですよ、これをやっぱりずっと広げて行っていただきたいと。

その可能性についてどがんですか。

議長／山口環境部長

山口環境部長／公共下水道は全体計画でエリアを定めて整備しており、現在、花島区は浄化槽区域として整備をしているところでございます。

下水道整備区域の変更自体は、地元の意向を確認し、事業用件等を全て満たせば可能かというふうに考えます。

議長／16番松尾議員

松尾議員／可能という、いろいろ満たせば可能という話は今答弁いただきました。

そう言いながら、私の家が、じゃああんた公共下水道にかたあかんた（？）ちゅうぎ、やっぱりすぐはかたらんですよ、確かに。

お金がかかあけんですよ。

ただ、やっぱり建て替えとか何かあった場合、こう来たら便利かですもんね。

だから、そういう意味では、あんた議会で言いよんさったぎ、あんたんとこ一番にかたらあじゃ（？）って言われてもちょっとね、はっきり言うてですよ、ちょっとかた（？）いえんともあるか分かりませんがね、来てもらったら便利になるしですよ。

ちょっとお尋ねなんですけれども、浄化槽ば設置しているところですか、そがんとこは何か簡単に管ばつけて簡単にできるとという話を聞いているんですけど、その辺はどがんですか。

議長／山口環境部長

山口環境部長／浄化槽を設置している建物は、宅内配管が既に完了しておりますので、そういう意味では、比較的簡単にスムーズに接続ができるというケースもございます。

議長／16番松尾議員

松尾議員／いずれにしても花島区の下水道の整備ですよ、広げて、ぜひお願いしたいと思います。

これはこの辺で終わって次の質問をしていくんですけども、次は、市役所庁舎でございますけれどもね、これはどういう話かと今、話をするんですけど、議会事務局で私が普通の会話ばしよったわけですよ。

そいぎ、職員がもう、委員会が横であってですよ、声の聞こえようですよっていうて何回も注意をされたわけですよ。

恐らく職員が言ったんですけども、議員が言わせたかも分かりませんよね。

いや、それはよく分かりません。

ただ、はっきり言って私は不愉快ですよ。

私は隣の部屋でしゃべようとですよ、普通の会話ですよ。

叫んだり、おめいたりしとうわけじゃなかとですよ。

そうでしょう。

叫んでもおらんとですよ、おめいてもおらんとですよ、普通の会話ばしようですよ。

もう、はっきり言ってですよ、もう私の生存権の問題ですもんね。

生存権の問題ですよ。

もう不愉快ですよ、はっきり言って。

それで、実は、これは以前の、平成 29 年 3 月の武雄市議会の一般質問の抜粋で、46 ページか 47 ページですよ、そのときは昔の庁舎ですよ。

そのとき、この建て替えるぎですよ、同じことあったんですよ、前の庁舎でも。

実は、委員会が隣同士にあって、私が話しとった声が隣の委員会のテープに入ですよって注意を受けました。

それで、もう建て替えるときは考えてくださいよということで、ここに書いてありますね。立派な答弁をありがとう、ここはあんまり関係なかって、では、新しい庁舎の防音対策は大丈夫かという質問ですけど、どがんですかって、まだできてないんですけどと言うたわけですよ。

答弁がですよ、新庁舎につきましては、現在、庁舎の課題点、問題点、こういうものをきちんと整理し、その対策を取るというふうに考えております。

当然、会議室の遮音性、これにつきましては、高い構造にいたしたいというふうに考えて、現在、施工しているところでございますという答弁をもらいました。

質問として、会議室の高い遮音性は、どんな遮音性なんですか。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／モニターで示されているとおり、庁舎建設に当たっては、会議室の壁や移動型の仕切りの壁等についても一定の遮音性を有する構造ということになっております。

議長／16番松尾議員

松尾議員／何もなってですか（？）なっとらんじゃないですか。

私がおつと言わると（？）ですよ、声のたかかて。

おめいたりはおらんら（？）したわけじゃなかとですよ。

それなのに普通の会話しよって、がん言わるとですよ。

もう庁舎建て替えてください。

質問です。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／庁舎建て替えの考えは持ち合わせておりません。

議長／16番松尾議員

松尾議員／では、防音性を高めるようなですよ、造作みたいなですよ、工事ばしていただいけんでしょうか、どがんでしょうか。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／改修につきましても、多額の費用が発生するということから、改修の工事を行うことも考えておりません。

議長／16番松尾議員

松尾議員／考えてない、考えていないって、何ができるんですか、武雄市は。

何も考えてない、あれも考えてない、これも考えてないって、何ができるんですか。

でね、私は思うたばってんですよ、こういうふうなことを言わないようにですよ、職員教育徹底してくださいよ。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／議員が御不快に思われたのであればおわび申し上げます。
すみませんでした。

今後も職員に対しては、適切に接遇するよう指導してまいります。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／はっきり言って、これ、私の生存権に関わる問題ですもんね。

大問題です。

よろしくお願ひしますよ。

次に、戸別受信機の裁判についてでありますけれども。

私は自分の考え言います。

この前の水害のときも、戸別受信機があつて大変助かったという話も聞いております。

敗訴という残念な結果になりましたけれども、質問として、敗訴した判決内容について詳しく確認したいと思います。

議長／諸岡総務部理事

諸岡総務部理事／議員御質問の判決内容でございますが、令和4年11月18日に佐賀地方裁判所にて第1審判決が言い渡されております。

内容につきましては、武雄市は小松氏に対し4億548万6,620円を武雄市に支払うよう請求せよ。

もう一点は、訴訟費用は武雄市の負担とする。

以上2点について判決が出されております。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／これですよね、佐賀新聞。

令和4年11月19日付の佐賀新聞。

このところですよ、ちょっとこのところが気になりましたのでちょっとアップしますけれどもね。

有線方式で整備された受信機は2階に避難する際に持ち運びできない短所があり、契約時点で議案が提出されていれば無線方式になった可能性があると言及したと。

私は可能性ないと思います、はっきり言って。

それはですよ、有線方式は確実につながるといってですよ、長所もああわけでしょうが。だから、私はどがん考えてもこういうのではないと思うし、一番大事なのは、やっぱり確実に音の流れることですね。

音が流れんやったり、途切れ途切れしよっちゃ、らちあかんとですよ。

だから、こういうふうな変わることもあるかも分からんように書いてますけどね、こういうことは私はありえんと思うんですけどね。

いかがでしょうか。

議長／諸岡総務部理事

諸岡総務部理事／議員言われました長所に関する内容でございますが、先ほど議員御紹介いただきました長所の内容もあろうかと思えます。

また、この長所または短所、こういった内容についてはいろいろな状況もあろうかと思えますし、一概に言えない部分でもあろうかと思えますので、お答えは控えさせていただきます。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／期待した答弁とは違いますけどね。

あと、ちょっと気になったのがあったんですけどもね。

受信機の設置を盛り込んだ当初予算が議会に可決されているという事実がああですよ。

そして、武雄市では過去の契約と照らして、システム構築ということで議会を通さなかったちゅう話もあります。

そがんやったとかないと思えます。

仮に、物品購入とか工事請負とかで議会に提出されていけば、私は通ったと思うんですよ。

全会一致にはならんですよ、反対者が何人さんかおんさったけん。

恐らく、全会一致にはならんばってんですよ、賛成多数で私は議会は通っていたというふうと思うわけですよ。

自信と確信を持って、あの場面におりましたので、そういうふうには思いません。

でも、中には、市民の人の中には、例えば物品購入とか工事の請負とか、議会ば通らんやっただけんこそ（？）システム構築に変えてね、こういうふうにはシステム構築に変えて、議会ば通さんやったっちゃかなかろうかという、思っている人もいますけどね、はっきり言って絶対そがんことなかですよ。

市民の人はそがんふうには思うとうさか（？）分からん。

でも、そういうことは絶対あり得んと思えますけれども。

質問といたしまして、物品購入は工事の請負として議会を提出されていたら、議会の議決が得られると思いますが、どがん思うんさあですか。

議長／諸岡総務部理事

諸岡総務部理事／議員御質問の見解についてでございますが、内容的に想定する内容のことになろうかと思しますので、お答えは控えさせていただきます。

議長／16番松尾議員

松尾議員／自信は(?)あったと思いますけどね、いいでしょう。

まず、自分の考え言うばってんですよ、市のほうも控訴するということで。

私も控訴を前提にさせていただきたい。

特に、やっぱり弁護士の充実強化ですよ。

今は、たしか鬼橋弁護士さん1人でしょう。

だからですよ、もっと充実強化して、裁判に勝つように頑張りたいと思いますけどね。

なかなか難しいと思いますけどね、勝つのは確かに難しいかも分かりませんが、いずれにしても質問としては、弁護団の充実強化についてどがんでしょうか。

議長／諸岡総務部理事

諸岡総務部理事／ただいま議員から御提案ありました充実強化でございますが、御意見として頂戴させていただきます。

議長／16番松尾議員

松尾議員／戸別受信機のことはこのぐらいで、充実強化して活用に頑張る、難しいか分かりませんが、よろしくをお願いします。

次に、教育であります。

自分の考えでよかったですよ。

暴力で世の中を変えていくことはあってはならないと思いますよね。

そういうことは絶対あったらいかんと思うわけですよ。

そこでお尋ねですけども、学校教育の中で、暴力についてどのように教育を行っているんで

すか。

議長／松尾教育長

松尾教育長／議員御指摘の暴力によって世の中を変えていくというようなことは、断じて許されるべきことではありません。

教育においてはいかなる暴力も認めないと。

そして、生命、命、そういったものを大切にする教育を行っているところでございます。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／実は、新聞記事は、例の安倍さんの件ですけども、ある新聞記事なんですけども、安倍晋三首相が 67 歳、銃撃事件が 2022 年 7 月 8 日、奈良市で参議院議員の街頭演説中だった安倍氏が、同市内に住む無職の山上徹也容疑者、事件当時 41 歳に手製の拳銃で撃たれて死亡した事件であると。

首相経験者が銃撃されて死亡した事件は戦後では例がない。

多くの聴衆の前で、昼、要人が狙われた事件だということもあって、内外に大きな衝撃が広がったという話でありました。

そして、動機が、母親が破産するきっかけとなった宗教団体を国内に広めた安倍氏だと考え、安倍氏を狙ったなどの供述と。

ある新聞の記事によりますと、山上容疑者は多額の寄附金で家庭が崩壊した教団を韓国から招き入れたのが岸信介首相。

だから、孫の安倍首相を殺したと供述したという話がありました。

私は、旧統一教会、今は何ですかね、現世界平和統一家庭連合ですかね。

私は何も関係なかとばってんですよ。

何かこの問題ですよ、何ですかね、世の中が旧統一教会が攻撃されようばってんですよ、山上容疑者の思いがかなうわけですよ、結果的には。

暴力で世の中変わるわけでしょ。

本当に暴力で世の中が変わっているとよく思います。

そして、こういう暴力の肯定とか、テロの肯定ですよ、こがんことは政治家もマスコミは誰も言わんとですよ。

誰々代議士がパーティーにおんさったの、おんされんやったって、そがんと私だってそがんでよかと思うわけですよ。

確かに、献金問題もありますよね。

でも、今の時期にこれをやったら、この統一教会を攻撃したら、山上容疑者が神聖化されますよ。

テロが正しくなりますよ。

だから、今の時期にするのは、私はおかしいんじゃないかなというふうに、つくづく思うんですよ。

ありがとうございます。

そういう声は、本当にないんですよね。

今、統一教会はどうなんだとか、そういうのばかりでしょうが。

もう、おかしかとですよ、この世の中がですよ。

これについて、教育長さん、どがん思うですか。

議長／松尾教育長

松尾教育長／いろいろな報道があっていることは承知しておりますが、立場上、ちょっとその先は言わないようにしておきたいと思います。

議長／16番松尾議員

松尾議員／ばってん、教育長、よく考えてるんですか。

今、だって、暴力で世の中変えたらいかんと言おうさったでしょうが。

***ですか。

そがんとも答弁できんとですか。

市長、どがん思うさですか。

議長／小松市長

小松市長／7月の安倍元総理が暴力によって命を失われたと。

本当にこれは痛ましい痛恨のことであって、こういうことが二度とあってはならないと思っています。

私も暴力で世の中を変えるというのは到底許されるものではない、人命を暴力で奪うということも許されるものではないというふうに思っています。

だからこそ、やはり民主主義というのが、もう一回戻らなきゃなんないと思うんですよ、原点に。

民主主義って何かというと、いろんな意見があつていいと。

それらを尊重しながら話し合いをして、そして、合意を目指していくと。

これがやはり民主主義だと思っていますので、ここは、私は教育においても、しっかりと教えていくべきであると。

そして、何より私たち大人が、もう一度、やっぱりしっかりと立ち返って、メディアも含めて考えていかなければならないと思っています。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／私が本当にこの一連の経過を見て、今、私は何も、統一教会なんか何も関係なかとですよ。

関係なかばってんですよ、今の時期にですよ、確かに献金問題はあるでしょう。

それはちかっと(?)何年か後でせんぎですよ。

今はここを攻撃しよったらですよ、正当化されるじゃなかですか、山上容疑者が。

そういう声が、本当に国の政治家もないし、マスコミもそういうこと言っても聞かんとですよ。

もう、おかしゅうてたまらん。

何で誰もこれ、おかしかと言わんとかなってという思いがあったけん、今回、一般質問として取り上げました。

次に、最後の質問でございますけども、新幹線についてでございます。

私もこの前、新大村まで新幹線乗りました。

感想を言います。

速いなと思いました。

それで、次に、トンネルが多いなと思って、多くの人が確かにこのままずっとつながれば、便利だろうなと思うさあろうな(?)ということは私も思いました。

そこで、実はこうでもんね。

この西九州新幹線が武雄温泉、諫早、長崎だけ止まるところは7本ですよ。

武雄温泉、新大村、諫早、長崎止まるのが12本。

全部止まるのが25本です。

ということは、武雄は始発駅44本止まるというんですよ、みんなが。

止まるというか、これから始まるんですよ。

嬉野は25本しか止まらんとですよ。

新大村37本。

諫早44本、終点長崎44本。

終点だから、そうでしょうね、44本。

何で諫早が44本全部止まるのかですよ。

何でかなと思うですけども、なぜこれ停車するのですか。

この理由なんですか。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／諫早の全便停車の件でございます。

これにつきましては、JR九州に確認をした事項でございませぬけれども、諫早駅から島原鉄道への接続がされております。

雲仙、島原といった観光地があること、そして、大村方面との交通の結節点というところから、観光客及び沿線住民の利用ニーズがあるというふうに判断をされているというふうに考えております。

議長／16番松尾議員

松尾議員／確認しますけど、市長は、るるフル規格派ということでは言われてはいますが、今日もそういう答弁もありましたけども、確認します、間違いないですね。

お願いします。

議長／小松市長

小松市長／間違いございません。

議長／16番松尾議員

松尾議員／ということは、今後、全線、もしフル規格になった場合は、諫早は全部止まるけんですよ。

武雄温泉も全部止まるごとは、うんどばせんばいかんと思うわけですね。

そういう確約を取れば、そういうふうに変わっていくんじゃないかなと思うわけですね。

全線がフル規格になった場合、武雄温泉は佐世保線との分岐点やけんですよ。

そういう意味においては、全線止まるように、やっぱりJR九州に確約は取っていただきたい。

そがんすつとか、やっぱり市長が幾らフル規格はと言っても、動かんばいかんとですよ。

私は、武雄市民が今の便利さが***、私はフル規格でもよかとですよ。

こがんふうになったらいかんとですよ。

嬉野***25本しか止まらんですもんねって、いかんとですよ。

でも可能性としては、諫早も、今答弁があったように、島原鉄道との分岐点だから44本止まるよっちゅうことは、可能性としては、武雄温泉駅でも佐世保線との分岐点になるので、全部止まるような運動ができると思うんですよ。

そういう確約をJRと取っていただきたいんですけども、いかがでしょうか。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／現時点におきまして、まだ決定事項が何もない中で確約を取るというお約束はできません。

ただ、議員御指摘のとおり、武雄温泉駅の長崎佐世保線との分岐点、西九州新幹線の分岐点ということもございまして、有田、佐世保、ハウステンボスという観光資源のほうも佐世保線のほうにはございます。

今後の流れ次第でございますけれども、そういうふうな動きになった場合については、当然何らかの動きをするということも考える必要はあるかと思えます。

議長／16番松尾議員

松尾議員／そんなことになってからじゃなかとですよ。

なら前にちゃんと確約は取って***進めていかないかんでしょ。

それが一番大事かと思うですよ。

私はどっちでもよかったですけどね。

ただ、武雄市民が困らんなら、私はフル規格に変わってどがんとなかとですよ、はっきり言って。

今までは一生懸命言うてきましたよ。

でも、やっぱり大事なのは、今、武雄市民が困らんこと***。

決まってからしてどがんするんですか。

その前にせんばいかんと思えますので、その点についてどがんですか。

質問です。

議長／小松市長

小松市長／今後、フル規格については、いろんな協議がなされていくと思えますけれども、

少なくともフル規格になったから、それが原因で武雄の利便性が大きく落ちることがあってはいけないと思っています。

そういう意味で、特に佐世保市、そして有田町を、佐世保線沿線というのを持っているのは、私たちのある意味強みでありますので、そこでしっかりと話をし、とにかくフル規格と合わせて、今後利便性が下がらない、そういった運動もしていく必要があると考えています。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／それで、これですよね、在来線、今ちょっとありましたけども、リレーかもめが 34 本ですね。

リレーみどり 10 本で、44 本ですね。

今の新幹線にリレーする分ですね。

そして、みどりが 12 本で、ハウステンボスが 10 本ですよ。

そういうふうになっていますけども、ということは、全部で 64 本、これに間違いなかですか。まず確認です。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／議員御指摘のとおり、間違いございません。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／新しい斉藤大臣の発言の要旨ということで新聞がありまして、これを、前赤羽一嘉国交省が在来線を残して運行を確約するように国交省の責任で J R と *** というのを、前大臣は言いよんさったですね。

現斉藤大臣も、同じ認識だということを言うとうさわけですよ。

ということは、在来線もそのまま残してくださいということで、この在来特急の 22 本は、これも、もしフル規格になった場合、残すような運動ば、もう市長ね、これちゃんと確約は取って、全線がフル規格になる場合は、並行在来線の現行を維持するように J R 九州に確認を取っていただきたいと思いますけど、なかなか難しいかも分かりませんが、努力していただきたいと思いますがね、この 22 本。

どがんでしょうか。

議長／小松市長

小松市長／長い目で見たときは、フル規格は必要だと。

ただし、目の前で、特にほかの在来線も含めて、普通電車も含めて、やはり学生中心にそこは利用は多いと。

人口流出防止である、あとは定住ができる環境であるためには、やはり在来線の維持というのは、ここもあわせて必要であると思っています。

そのあたり、本当はいろいろ交渉材料にできると思うんですけども、いずれにしても大事だと。

大臣もあそこまで言っていていただきますので、今後、市長会でも、武雄、嬉野でフル規格という話はしていますけれども、そこにあわせて、そういった在来線の維持というのも今後セットで強く要望していきたいと思っています。

議長／16 番松尾議員

松尾議員／いずれにしても、大臣もそがんふうな話ばしようさけんですよ、やっぱりここが一番大事かところだと思うわけですよ。

この2点を、今、最初言うところですね。

全部、全線もしフル規格になったときには、全部武雄に止まると。

そして、並行在来線もそのまま残すって。

そがんなれ(?)私も、もうフル規格で頑張ろうという気持ちになるですよ、はっきり言って。

ここが一番大事なところなんですよ、私にとってはですよ。

その予算の問題は国の話、県の話ですもんね。

もし、全線フル規格になっても、都市計画区域だけが武雄が負担になるから、そういうところはなかと思うですよ。

お金は関係なかとです、武雄は。

一番大事かとは今言った2点です。

2点をしっかりと進めてもらいたいと思います。

以上で質問終わります。

議長／以上で16番松尾議員の質問を終了させていただきます。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これにて散会いたします。